

統合校の校章及び校歌の決定について 他区の事例

1 足立区立千寿小学校（平成 14 年 4 月開校、千寿小と千寿第二小の統合）

校章

13 年 11 月から児童・保護者を対象に、

「両校の教員がデザインした校章 6 点」のアンケート調査

及び「別のデザイン」を募集

統合地域協議会で協議し、デザイン案 55 点から投票により 3 点を選出

教員デザインの 6 点の中で得票の多かった 1 点とあわせ 4 点に絞る

4 点を再度、児童・保護者アンケート

最も得票の多かったものを校章として決定

校歌

13 年 11 月から「歌詞」及び「歌詞のフレーズ」を募集

応募された歌詞や言葉を基に、校歌選定委員会が選定し創りあげた。

作曲は椎名豊氏に依頼

校章



校歌

千寿小学校 校歌

作詞 児童・保護者合作
（校歌選定委員会）
作曲 椎名 豊

一、高く澄んだ 青空に
明日の姿を 映し出す
あふれる笑顔 友の声
希望に満ちた 千寿の子
みんな仲よく 伸びゆこう

二、歩みをしるす 街道に
その名は懐かし 桜堤
千住に育つ 誇りを胸に
たゆまず学ぶ 千寿の子
明るく元気に 羽ばたこう

三、水の流れも ゆるやかに
はるかに望む 富士の嶺
大きな夢を 抱きつつ
心豊かな 千寿の子
輝く未来へ 飛び立とう

2 新宿区立四谷小学校（平成 19 年 4 月開校、四谷第三小と四谷第四小の統合）

校章及び校歌

「四谷地区三小学校統合協議会だより（平成 17 年 9 月 29 日 14）」より

校歌・校章

四谷小学校校歌・校章策定委員会設置要領により、校歌・校章策定委員会を設置。年内にアンケートを実施し、歌詞・曲風・校章のイメージを集める予定。
平成18年3月までに作詞・作曲者を選定し、9月頃に完成予定。

「四谷地区三小学校統合協議会だより（平成 18 年 3 月 3 日 15）」より

校歌・校章

校歌については、昨年、児童・保護者等を対象に実施したアンケートをもとに、新校のイメージが作詞・作曲家にわかるような資料作りを行っており、現在作詞・作曲家を選定しています。校章については、アンケート結果を参考に2月末までに案の作成を予定しています。

「四谷地区三小学校統合協議会だより（平成 18 年 12 月 12 日 16）」より

校歌・校章

校歌については、昨年、児童・保護者等を対象に実施したアンケートをもとに検討しました。新校のイメージから作詞・作曲していただきました。作詞は高木あきこさん・作曲は橋本祥路さんにお願しました。校章については、アンケート結果から案を作成し校歌校章策定委員会で検討後決まりました。

四谷小学校校歌	
朝の光が さわやかに 明るい校舎に はずんでる きょうも みんなで 元氣よく なかよく学ぼう のびのびと 四谷の街を めぐる風 みんなの心 はぐくんで ひろい世界へ ふいていく 四谷 四谷 四谷小学校	作詞 高木あきこ 作曲 橋本祥路
いとむかしが つながって 希望の未来の 戸をひらく きょうも みんなで 輪をつくり 笑顔で語ろう いきいきと 四谷の街に ひびく歌 みんなの願い こめるとき ゆめが たしかに 見えてくる 四谷 四谷 四谷小学校	

四谷小学校校章の由来

四谷第一小学校、四谷第三小学校、四谷第四小学校の三校の統合により四谷小学校が誕生する。

三校それぞれが百年を超える歴史と伝統をもった小学校である。この三校の歴史と伝統を引き継ぎ、その総和として新しい歴史と伝統を象徴した三本の矢と、四谷の地名や四谷小学校のイニシャル“Y”を図案化、そして新校の教育方針としての知・徳・体を象徴している。また、新校としての若々しさや、発展、学びの場としての知性を象徴し、スクールカラーとしての青を基調とした。



3 豊島区立南池袋小学校（平成 13 年 4 月開校、高田小と雑司谷小と日出小の統合）

校歌

統合新校が開校してから制作している。作詞：校歌制定委員会、作曲：松下耕氏。

南池袋小学校 HP より

創立1年目の平成14年2月に、南池袋小学校の校歌ができました。
夏に歌詞の募集をし、その後校歌制定委員会で検討しながら歌詞を
作り上げてきました。
作曲は縁あって「松下耕先生」にお願いすることになりました。

松下 耕（まつした こう）先生

国立音楽大学講師。NHK合唱コンクール審査員、及び
課題曲を作曲。その他いくつかの合唱団の指揮・指導など、
幅広く活躍されています。

平成14年3月の卒業式をお披露目、その後も全校で練習を積み、今はもうみんな
上手に歌うことができるようになっています。

4 豊島区立池袋小学校（平成 17 年 4 月開校、大明小と池袋第五小の統合） （平成 15 年 1 月 28 日に第 1 回統合推進協議会開催、平成 17 年 1 月 27 日の第 12 回をもって終了）

校章

H15.9.10 統合推進協議会（第 4 回）会議録より

- ・ 統合推進協議会委員の出身母体ごとに募集し、それを出身母体で 5 点に絞り込み、協議会に持ち寄る。その中から協議会委員の投票により決定する。
- ・ 別途、学校からの提案として児童・保護者から募集する。それについては 5 点に限定せず、協議会に持ち寄る。
- ・ 募集したデザインは、専門家による修正を行い、各団体に戻して反応を見た上で協議会において協議する。

H15.11.27 統合推進協議会（第 5 回）会議録より

- ・ 応募状況は、大明小 2 点、池五小 24 点、大明小同窓会 5 点、池五小同窓会 3 点、町会 3 点、育成委員会 3 点の計 40 点。
- ・ 専門家による修正が応募作品のイメージを改ざんしているとの指摘があり、応募作品 40 点について、原画と比較しながら改めて次回検討する。

H16.2.4 統合推進協議会（第6回）会議録より

- ・ 応募作品 40 点について、委員投票を行い上位 5 点に絞り込んだ。次回、再検討の上、決定する。

H16.3.11 統合推進協議会（第7回）会議録より

- ・ 投票により一番得票の多かったものに決定したが、星型のデザインが過去の暗いイメージと重なるとの指摘を受け、次回、デザインを修正した上で、再度検討し、決定することとした。

H16.5.19 統合推進協議会（第8回）会議録より

- ・ 修正案 3 パターンから一つに決定し、それを微修正したものを次回再度協議し、最終決定とすることとした。

H16.6.28 統合推進協議会（第9回）会議録より

- ・ さらに微修正した 6 パターンについて再度検討し、投票の結果、決定した。
- ・ なお、色については、学校と PTA において協議し決定することとした。
- ・

校章の由来



太陽を背に飛び立とうとしている鳥（池袋小学校の子ども）をイメージしています。
背後の日輪は三本で、学校、地域、家庭を表しています。星形の「大」の字と日輪・星の「明」るさから「大明」の字を、星形の「五」辺と池袋の文字から「池五」の字を含み、両校が融合されています。